

6月27日(土) 第54回総会 多数参加を!

講演は屋敷陽太郎氏

大河ドラマ「真田丸」プロデューサー

関東同窓会は6月27日(土)、千代田区一ツ橋の如水会館で第54回総会・懇親会を開催します。今年のイベントは、来年1年間にわたり放映されるNHK大河ドラマ「真田丸」のチーフ・プロデューサー、屋敷陽太郎氏による講演と、母校室内楽班メンバーによる演奏です。多数ご参加、懐かしい友と旧交を温めてください。

今年室内楽班の演奏

母校から33人

屋敷氏は1970年富山県氷見市生まれ。京都大学法学部卒業後、93年NHK入局。主にドラマ制作に携わり、大河ドラマ「新撰組!」「篤姫」「江の姫たちの戦国」などを担当。このほかにも連続テレビ小説「私の青空」、ドラマ10「ガラスの家」、よるドラ「眠れる森の熟女」、土曜ドラマ「君たちに明日はない」「マチベン」「64(ロクヨン)」などを担当されました。

上田高校室内楽班はこの春迎えた新入部員19人を合わせ部員52人。長野県の高校の管弦楽・室内楽クラブでは最大規模を誇ります。

実行委員期は68、73、78、83、88期です!

会場では会員の作品展示、頒布も実施します。書籍、写真、随筆、紀行文、手工芸品などの出品、班活動、同窓・同期・同級会活動の記録などの展示を歓迎します。【申し込み・問い合わせ】副会長 池田有美子(69期)
 電話 080-3579-2675 メール yxy@mub.biglobe.ne.jp



NHKチーフ・プロデューサー
 屋敷陽太郎氏

来年は「真田丸」放映で上田が全国の注目を浴びることになりそうですが、真田丸をはじめ、手がけられた大河ドラマなどの制作裏話をたくさんうかがえると思います。



演奏する上田高校室内楽班

器を手にした班員ですが、熱心な練習の結果毎年3月の定期演奏会では吹奏楽班の協力を得て本格的な管弦曲に挑戦。12月に東京で開催される全国高等学校選抜オーケストラフェスタには13年連続で選ばれています。

当日は2、3年生のメンバー33人がバッハ「主よ人の望みの喜びよ」、モーツァルト「ディベルトルメントK136」などクラシックのほか「ムーンリバー」などおなじみのポピュラーの演奏を予定しています。

【日時】 6月27日(土)

12:45 受付開始

13:30~17:30 講演会、総会、演奏会、懇親会

【会場】 千代田区一ツ橋 2-1-1 如水会館 (☎ 03-3261-1101)

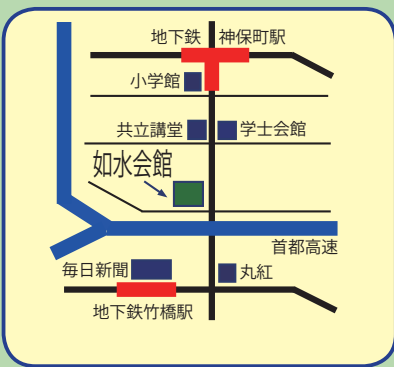
【会費】 6,000円 (110、111、112期は2000円)

113期は無料(予約申し込みが必要)

【交通】 ▶地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車

A9出口 徒歩3分

▶地下鉄東西線の竹橋駅下車 1b出口 徒歩4分



盛大に新年会

きらら会の演奏楽しむ

関東同窓会の新年会が1月22日夜、千代田区一ツ橋の日本教育会館で開かれた。例年を上回る97人が参加、グラスを手に世代を超えて語らいを楽しんだ。

アトラクションは、小諸高校音楽科卒業生有志でつくる「きらら会」(代表・下村俊子さん)のメンバー3人による演奏会。ピアノの今井麻耶さんの伴奏でチェロの松井明日香さんがサンサーンス作曲の「白鳥」など5曲を演奏。会場を埋めた参加者は、チェロの音色に聴き入った。続く竹内直美さ

んのソプラノ独唱は島崎藤村作詞でおなじみの「椰子の実」や、NHKのテレビドラマ「坂の上の雲」のテーマソング「スタンドアローン」などが続いた。

最後に竹内さんが関東同窓会側からリクエストした上田高校校歌を独唱。ソプラノによる校歌に、会場には大きな拍手と笑顔が広がった。演奏終了後、会場から「アンコール!」の掛け声がかかるなど、大好評だった。

総会に向けキックオフ

関東では桜の花も咲き終わり、突然の黒雲からの激しい雨が降った日、千駄ヶ谷の解体中の国立競技場を見下ろす絶好の場所で68期の同期会が開かれました。

会場には「ほとんど見知らぬ人たち」が集まっていたが、はるか昔、上田高校の門をくぐった

面影は確かにとどめているように感じた。

夕刻6時に始まった宴には青森、群馬、埼玉、東京、神奈川県、



総会を前に68期のキックオフ

千葉、長野の各地から女性2人を含む25人が参集して、自己紹介を兼ねたあいさつが始まりました。しかし早くも酔いが回った私には誰が何を話したかほとんど記憶になく、ただ、卒業以来45年、皆それぞれに自分の道をしつかりと歩んできたのだなという感慨だけははつきりと残っています。

そもそもここに集まったのは、今年の関東同窓会総会の期当番がわれわれだと宣告され、その準備のためだったはずですが、かくなる次第でそのもくろみはほとんど達成されずに3時間がたつてしまつたというわけです。

小林 誠(68期)

高梨奉男会長が懇親会のあいさつで、総会の講演はNHKの大会長就任からはや1年が経過しようとしています。この間、役員

動は異色です。会報内容、総会内容、新年会開催、会員交流の場の機会創出、女性の会などです。また高校同窓会で基金を保持する同窓会は他に

字予算を策定いたしました。繰越金を使わせていただく予算です。総会(大会)は「大会費の収入予想の範囲内」という原則の下に、「真田丸」秘話による講演で、参加者増を期そうと考へ、会費据え置き、繰越金使用の決断をいたしました。

頂いておりますが、交通費など費用もかかります。若手実行委員会の「ぜひとも母校の室内楽班を」の熱意と「真田丸」秘話による講演で、参加者増を期そうと考へ、会費据え置き、繰越金使用の決断をいたしました。

去年来、たくさん先輩の訃報に接しました。同窓会だけでなく、松尾倶楽部や上田郷友会の設立趣旨や運営の歴史、そこでの功績や人となりなどを知るたびに、先輩の皆さんの築かれた基盤に感謝の念が増します。他校の同窓会はその運営に苦労されていることを

考えますと、本同窓会の活発な活動は異色です。会報内容、総会内容、新年会開催、会員交流の場の機会創出、女性の会などです。また高校同窓会で基金を保持する同窓会は他に

先輩執行部は努力してこれ、繰越金を残してくださいました。会場となる如水会館と如水会OB(母校先輩)のご厚意でもあります。しながら、数年来の「値上げ要請」をそろそろのまざるを得ない状況にきております。一方、大会での母校招聘の音楽会は大変好評を

お願ひ申し上げます。いづれ大会費の値上げをお願いしなければならぬ時が来ると覚悟しておりますが、引き続き経費節減に努め、本会の健全な運営に努めてまいります。



きらら会演奏に聴き入る新年会参加者



あるでしょ
会長 高梨奉男

ごあいさつ

OB(母校先輩)のご厚意でもあります。しながら、数年来の「値上げ要請」をそろそろのまざるを得ない状況にきております。一方、大会での母校招聘の音楽会は大変好評を

あるでしょ
会長 高梨奉男

OB(母校先輩)のご厚意でもあります。しながら、数年来の「値上げ要請」をそろそろのまざるを得ない状況にきております。一方、大会での母校招聘の音楽会は大変好評を

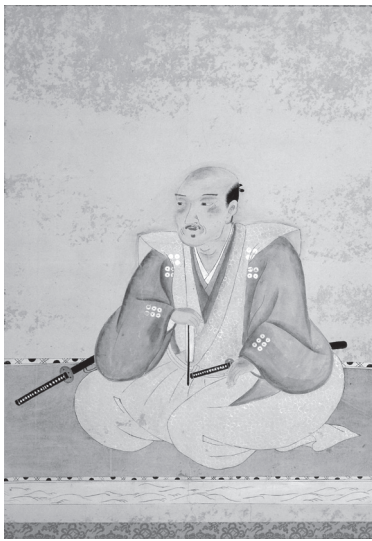


真田信繁（幸村）について

寺島 隆史（67期）

真田幸村の本当の名は信繁でした。ところが、戦記物などにより「幸村」として有名になったのです。幸村の村は、徳川家にたつたという妖刀「村正」の村とも言います。私はこの幸村でよいと思っているのですが、来年のNHK「真田丸」は「信繁」で、このことです。これにならって、というのでもありませんが、ここでも「信繁」にしておきます。

真田氏については情報があふれています。にもかかわらず、事実関係の整理がなされていない点が少ないように感じています。そんな中で最近の拙稿より、信繁についての私なりの見解の一二を、紹介させていただきます。まず、真田対徳川の第一次上田



真田信繁（上田市立博物館蔵）

見落とされていた、伏見（京都）より上田へ出した書状が2通あるのに気が付きました。前山村（上田市西塩田）からの貢納米の換金、伏見への送金につい

私見の一二

合戦に関わっていますが、江戸時代の史書類では、信繁も上田で戦ったとしています。しかし、現在の通説では、これへの信繁の参戦はないとされています。越後へ人質として送られたばかりの信繁が、上田へ戻されるはずがないというのです。けれども、信繁は上杉氏の家臣扱いでもありました。それも、史書類に見られる通り、一時的にせよ上田へ帰って参戦とみえます。その代りとしてでしょう、母親が上杉方の海津城へ送られていますし、信繁に随行とされる重臣矢沢頼幸も同様の行動をとったとみられるのです。また、信繁の確かな史料と言

て指示しているものです。これよりも、前山村は信繁領だったことが分かります。また、贈答用としてでしょう、同村産の漆を伏見へ取り寄せている、という興味深い事実も知られるのです。江戸時代中ころまでの前山は、上田地方NHK大河ドラマ「真田丸」放映決定記念寄稿（中）

第2次上田合戦の背景

萩原 貴（79期）

では漆の特産地でもありました。以上、詳しくは『信濃』（信濃史学会）5月号の「真田信繁（幸村）の証人時代再考」をご覧くださいれば幸いです。（元上田市立博物館長）

第一次上田合戦の15年後の慶長5（1600）年9月、関ヶ原の合戦の直前に上田城は再び徳川の軍に攻め込まれた。真田昌幸・幸村父子はわずか3千の兵力で徳川秀忠率いる徳川軍主力3万8千をくぎ付けにし、これを本戦に遅参させた。これが世に言う第2次上田合戦である。通説では『秀忠が中山道ルートでの合戦に向かう途中に「行きがけの駄賃」といった軽い気持ちで上田城を攻めた』と言われることが多いが、ここでは全く別の説を紹介する。【秀忠軍の上田城攻めは上杉征伐の一環だった】慶長3年（1598年）秀吉が亡くなる直前に越後から会津に転封された上杉景勝は、秀吉が亡くなると旧領越後回復と養父・謙信の宿願というべき「関東一円支配」実現のために公然と軍備拡張

のために東海道ルートで9月1日に江戸を発つ直前の8月29日である。この日に家康は上田城へ移動中の秀忠宛てに「至急、中山道を上り清洲へ参集するように」という指示を持たせた使者を派遣した。しかし途中で川の増水などのアクシデントがありその使者が秀忠のもとに到着したのは何と9月9日、既に9月6日の上田城総攻撃は失敗に終わり秀忠軍は小諸でにらみ合いをしていた時であった。翌10日に秀忠軍は小諸を出発して間道を諏訪に抜け、後は中山道を通り急いだが15日の合戦に間に合わなかったのはご存じの通りである。

六文銭隊コロツケ
富福神本舗

有限会社シヨクサン
長野県上田市小泉851-2
電話 0268-25-1240
FAX 0268-25-1239
E-mail : shokusun@pastel.ocn.ne.jp

六文銭隊コロツケ
販売店募集中！

2012年に策定されたアクションプランは昨年、6つの委員会活動として新たなスタートを切りました。役員で委員長や委員を分担し、同窓会活動のさらなる充実や将来に向けての施策検討などを行っており、各委員会の取り組みをあらためてご報告します。ご意見あるいは委員として一緒にやってみたいという方を歓迎いたします。

倉沢 裕（幹事長、69期）

若手会員対策 実行委員会

同窓会ほど幅広い世代で構成されている団体はあまり無いでしょう。関東同窓会も18歳から100歳前後の方々がおられます。すなわち3世代から4世代の方々が集う団体になります。これほどの世代の相違を一つの価値観で運営しようとするのは何らかの食い違いもあって不思議ではありません。これまでも数年にわたり若手会員（おおむね45歳以下）対策は行ってきましたが所期の成果には至っておりません。これらの経緯を踏まえて今期はまず、80期から112期までの（同窓会としては若手の）代表幹事・期幹事全員および幹事不在の期においては住居地域、過去の関わり程度、男女バランスなどを参考に150人の会員にアンケートを実施し、同窓会の伝統と時代にマッチすべく改善をいかに融合させ、魅力ある同窓会にしていくか、のきつかけ

を得たいと考えました。

アンケートは①同窓会全般について②同期生との関係について③総会について④新年会について⑤同窓会への要望、の大きく5問について、さらにその中の小問を合せて63問につき回答いただきました。結果は総回答数42通、うち有効回答40通、有効回答率26.7%（男性14/82、女性26/68）。回答対象は21の期、うち無回答は12の期で42人分。

同窓会への認識は会報をほぼ全員が見ている効果で2/3が総会・新年会と共に認識している。半面、HPは2/3がアクセスしていないのでぜひアクセスして最新のニュースなどに触れていただきたい。若い会員は仕事や家事が優先されるので会への本格参加は40代からが大半。同級会・同期会には割合前向きでかつ女性が引張る傾向がみられる。ただし女性は何らかのこだわりが強いようだ。総会に参加した人は90%近くが楽しかったと回答。新年会は多忙な時期のためかあまり興味を抱

いておらず、特に女性にその傾向が強いのは女性の社会進出が顕著なことと比例しているようだ。この他に自由記述も21件（うち女性13件）あり、貴重なご意見を今後に生かしていきたい。

委員長 丸山暢久（副会長、65期）
委員 塩野崎英二（会計長、66期）
萩原 貴（副幹事長、79期）、石黒久仁子（副幹事長、80期）

学生会員の社会 ビュー支援委員会

学生会員の切実な悩みである就職活動支援をテーマとしていま

す。具体的には、学生会員が就職を希望している業界や企業の同窓生の先輩を紹介し、直接会って、業界や企業情報についての収集や仕事内容、求められる人材像などについて相談に乗っています。

就職活動準備として位置づけていますので、学年は何年でもOKです。関東同窓会の先輩はさまざまに活躍されている方が多数おられますので、遠慮なく相談に来てください。実際の就職の面倒をみることはできませんのでご了承ください。同窓生のOB訪問を希望される方は下記手順に従って実行してください。

〈OB訪問までの手順〉

- ①学生会員支援事務局宛てに「OB訪問希望メール」を送る
- ②事務局では登録されている社会人会員から学生会員が希望する業界や企業の会員と調整し、訪問の了解を得る
- ③学生会員は紹介された社会人会員と直接連絡をとり、日程や訪問場所を調整する
- ④OB訪問の結果（感想など）を事務局宛てに提出する

〈連絡先〉関東同窓会 学生会員支援事務局
委員長 藤川 昇（副幹事長、63期）

女性会員の会 実行委員会

初めて女性会員の懇親会が開かれたのは、1995年1月でした。それから2005年まで順調に回を重ねた後、しばらく途絶えていました。前会長の下、アクションプランの一環として「女性会員交流の推進」が設けられて、13、14年に女性同窓会を持ちました。そして、このたび「女性会員の会」として活動を継続していくことになり、3月7日に通算8回目を開催しました。

近年、上田高校に入学する女

生徒の数は過半数におよび、同窓会に占める女性会員の数も大幅に増加しています。しかし、女性の同窓会役員や総会参加者の数は、95年当時とそれほど変わっていないようです。同窓会に目を向ける余裕が生まれたときには、どうぞ女性会員の交流の場にご参加ください。同窓という縁につながる新たな人との出会いが、人生を豊かにしてくれるに違いありません。お待ちしております。

委員長 池田有美子（副会長、69期）

櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)

弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092 千代田区隼町2-17 パレスサイド千代田3F
Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563
sakura@sakurada-jimusho.com



IT推進委員会

IT推進委員会は関東同窓会のホームページ

(HP: <http://uedakant.sakura.ne.jp/>)

の運用を担当しています。HPを用いて会員間の情報共有や情報交換をより一層活性化しようと考えており、会からのきめ細かな情報発信を心掛けています。

あらかじめ定めた運用ルール(詳細な運用ルールはHPに掲載予定)にのっとり「同好会・研究会の活動報告」、「皆の掲示板」や「会員の意見交換の広場」欄を開設しており、皆さまからの積極的な投稿を期待しています。

さらには同期会や班活動のOB/OG会、同窓生個人が開設しているHPなどの相互リンクの輪をもっと広げたいと考えています。こうしたリンクは同窓会だけでなく、各同期会やOB/OG会の活性化にも貢献するのではないかと考えます。同期会や班活動のOB/OG会のHPを運用されている方々、IT推進委員会から連絡を差し上げることもあろうかと思いますが、積極的に当方にコンタクトを取っていただければ幸いです。

です。

HPの運用に関してご意見ご要望があれば、何なりとお寄せください。皆さまのご協力を得てこのHPをより良いものにしつつ、一つのツールとして、同窓会・同期会・同級会・OB/OG会の活動の場を広げていただきたいと思います。

委員長 原田義則(副会長、65期)

会員交流 推進委員会

会員交流推進委員会の目的は会員相互の親睦をより深めるため、年齢、世代を超えた横の交流を図ることである。現在、3つの会が活動しているが、ご希望があれば新たな同好会も検討したい。

「ゴルフの会」歴史が古く、年2回(春秋)コンペを実施する。幹事長は古畑克巳委員。幹事長を助ける幹事団は69期の面々が引き受けている。

「やまびこ句会」2012年8月に発足。毎月第2金曜日午後2時に都内の公共施設にて句会を実施。吟行は年2回。同窓会ホームページに毎月の作句を掲載中。

「赤松小三郎研究会」隔月(偶数月)の第3火曜日。年に1〜2回外部講師を招き講演会を実施、

一般からの参加も歓迎する。同窓会ホームページに活動内容を掲載中。

委員長 小山平六(副会長、62期) 委員 堤達(副幹事長、67期) 古畑克巳(副幹事長、69期) 荻原貴(副幹事長、79期)

編集委員会

年2回発行する会報「うえだ」

は、同窓会の運営に関するお知らせやイベントなどの報告のほか、同窓生の活躍などの消息を取材や寄稿で皆さんにお知らせしています。また母校の様子についても先生方に執筆していただいで掲載しています。

会報は、ホームページと並んで同窓生のニュースや、同期生の動向などを昔の仲間にも伝えるための貴重なツールでもあります。ど

うか遠慮なく声を掛けて活用してください。

最終ページの「うえだ人」は各方面で活躍する同窓生を取り上げます。取り上げてほしい人がいたら編集長松本まで。このほかエッセーなどの寄稿も受け付けます。紙面の許す限り載せていきたいと思います。同窓生の新刊本を紹介するコーナーもあります。連絡はメールで松本まで。

matsu-teisu@m01.fiscom.net

委員長 松本哲夫(編集長、67期) 委員 望月亮子(副幹事長、71期) 福田礼子(副幹事長、72期)

赤松小三郎講演会のお知らせ

8月18日(火) 文京シビックホール

赤松小三郎研究会は8月18日、佛教学部歴史学教授青山忠正氏を招き、講演会「幕末の偉才 赤松小三郎」を文京シビックホールで開催します。

上田藩士の赤松は、京都で開いた洋学塾で多くの英才を育てるとともに、わが国の近代化に向けてのグランドデザインを描きその実現に力を尽くしました。1867(慶応3)年に37歳で暗殺されましたが、その先進的な政治思想と優れた洋学の教えは日本の近代化に大きく貢献しました。

赤松を史実から精査し、脚光を当てた青山教授に、赤松がわが国の近代化に果たした大きな役割についてお話を伺います。皆さまのご参加をお待ちします。

日時=8月18日(火)

受付開始 18時10分

講演 18時40分~20時40分

会場=文京区文京シビックホール小ホール

(文京シビックセンター2階)

東京メトロ丸の内線、南北線後楽園駅、都営三田線、大江戸線春日駅下車

参加費=1000円(当日会場受付で申し受けます)

定員=300人(事前のお申し込みが必要です。早めにお申し込みください。総会出欠の返信はがきでも申し込みができます)

お申込み、お問合せは赤松小三郎研究会事務局まで。

電話 070(2685)2384

kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp

新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号

岩波書店アネックス8階 〒101-0051

電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361

<http://www.shin-chiyoda.jp/>



女性会員の会が同窓会

堀内ふきさん(66期)講演

症、レビー小
体型認知症、
前頭側頭型認

3月7日、「女性会員の会」になつて初めての女性同窓会を開催しました。参加者は、52期から93期までの31人。初参加や上田市や東御市からの参加もありました。

第1部は、66期の堀内ふきさん(佐久大学看護学部教授)による講演会。「最新の認知症情報」という演題で、4大認知症(アルツハイマー型認知症、血管性認知

31人が参加した女性会員の会同窓会



症)や認知症のケアと予防について、分かりやすくお話していただきました。高齢化が進む中で避けては通れない大きな関心事である認知症について、1時間では物足りないくらいでしたが、充実した内容に皆さん熱心に聞き入りました。認知症の人に対する偏見をなくし、その人らしさを中心におくケアが必要という結びの言葉が胸に落ちました。そして、予防は、知的刺激、定期的な運動、バランスの良い食事とのこと、あらためて心しました。

池田有美子(69期)

赤松小三郎研究会 活動報告

「赤松小三郎研究会」は偶数月の第3火曜日に集まっています。毎回参加者は20人前後、2015年2月には第10回を数えました。参加者が自発的に赤松小三郎に関するテーマを決めて発表しています。前回の会報に引き続きその後の活動を報告します。(詳細は、関東同窓会ホームページの「赤松小三郎研究会」をご覧ください) ○第9回(2014・12・16)

1. 大橋邦夫さん(60期)による上田藩松平家の日記「日乗」(全30冊、上田市立博物館収蔵)の一部よりの古文書解説。今回は、幕府が上田藩に対して行った赤松小三郎の開成所教授手伝の出仕要請を、上田藩が拒否した箇所の解説。

2. 滝澤進さん(61期)による「赤松小三郎と横井小楠について」の発表。横井小楠の基本的な政治思想は赤松小三郎とかなり近かった。一方、赤松が若くして命を奪われたため、政治に対して、建言や働き掛けにとどまったと考えられるが、横井は松平春嶽のブレンとして、また勝海舟、坂本龍馬との交友などを通じて幕末政

ゴルフコンペに42人

優勝は大野正廣さん

第23回上田高校関東同窓会春のゴルフコンペは4月10日(金)千葉カントリークラブ・川間コース(千葉県野田市)で54期から69期までのゴルフ同好会メンバー42人が参加して開催された。

優勝は大野正廣さん(65期) Ⅱグロス91 ネット70▽準優勝は滝沢鉄夫さん(63期) Ⅱグロス87 ネット72▽第3位は井上茂さん(60期) Ⅱグロス95 ネット73▽ベストグロス賞は高梨奉男さん(62期)がグロス84で獲



千葉カントリー倶楽部で42人が参加したコンペ

得した。5チームが参戦した期別対抗戦は62期が優勝した。

コンペの後のパーティーでは、ただ1人第1回から皆勤の宮島光男さん(55期)をはじめ、初参加の芝間伸剛さん(68期)、細萱文彦さん(69期)のスピーチもあり、和やかな雰囲気の中終了した。

次回第24回コンペは11月11日(水)船橋カントリー倶楽部(千葉県白井市)で開催の予定。

コンペの新規参加メンバーを募集中。希望者は 090-6042-0566 jlc3685@b8.mnx.ne.jp 代表幹事古畑克巳(69期)まで。

荒木久文(69期)



東海道53次の旅(4)

岡崎から二川

2014年11月15日、前回解散した岡崎からの旅。家康生誕の岡崎城を見学してから、岡崎の27曲がりとして知られる岡崎宿を歩いた。岡崎城下の東海道は、城の近くを通らないように曲げられ、宿場の長さは1里51間(4・02^キ)もあつた。

2015年の初歩きは3月28日、豊川稲荷に参拝してから吉田宿に向かった。

ようやく岡崎宿江戸口にたどり着き、藤川宿に向かう。秋葉神社常夜燈や東海道碑が並ぶ旧道を歩き、藤川宿入口の松並木に着いた時は日近かつた。宿場の中ほどにある脇本陣は門が残り、建物の一部は資料館になっている。隣の本陣跡は高札場と冠木門が復元されている。

2015年の初歩きは3月28日、豊川稲荷に参拝してから吉田宿に向かった。

旧道を歩き、豊橋を渡ると吉田宿。宿場入口にある西惣門跡は、門の下側を切つて台の上に置いてあり、なんとも悲しい姿である。本陣、脇本陣は碑のみ。吉田城跡は、隅櫓が復元されて建っている。五分咲きの桜が映えて美しい。

豊橋駅近くで泊まり、翌日、二川宿に向かつて歩く。途中、昔から観音霊場として知られる岩屋観音に寄り道した。行基作の千手観音像が祭られ、岩山には大小の石仏が祭られ、山頂に青銅の観音像が立っている。

この日は、今年3月で営業をやめた赤坂宿の大橋屋で泊まった。広重の浮世絵にも描かれた大旅籠で、表に掛けてある大ちようちん、中庭の石灯籠など昔の面影を残していて、江戸時代の旅人気分であつた。

二川宿本陣は、東海道には2か所しか現存しない本陣の一つで、豊橋市が江戸時代の姿に復原して公開している。隣には、旅籠屋・清明屋が改修・復原されている。併設の資料館は、江戸時代の

蔵寺に葬られている新撰組隊長・近藤勇の首塚と胸像を見て、赤坂宿に向かつて歩いた。

赤坂宿は、昨日泊つた大橋屋

街道や宿場について、分かりやすく興味深い展示であつた。

清水計枝 (64期)



愛知県豊橋市の二川宿本陣で

神田美容外科形成外科医院

院長・医学博士

征矢野 進一 (69期)

千代田区鍛冶町二七二

03-1135-7102

音楽家・コカリナ演奏家
黒坂黒太郎 (正文) 66期

<http://www.kocarinanet/>

句会の楽しみ

やまびこ句会

やまびこ句会も発足して約3年になる。句会は兎玉一江先生の指導の-down季雑詠で行っている。月1回の句会当日までに5句をそろえるのにまだに四苦八苦の状態である。俳句の楽しみは作ることに鑑賞することであるという。選句で自分の作品が選ばれることは

やまびこ句会 (11月〜2月)

- 励みになり、また他の人の句を読んでも思いがけない斬新な題材、表現等に感心させられることも多い。これ
- からも季節を感じ取り楽しみながら句作を続けたいと思つている。
- 萩原隆治 (61期)
- 蒼天に芽吹く辛夷や奥秩父煌々と中天に月オリオンも凍み豆腐かつて信濃の風物詩初買ひの夢のふくらむ銀座かな水仙花入院十日母逝きぬ日だまりの路地に一輪返り花秋天に遊ぶ白雲富士の山水仙の荜折れてなほ風の中凍てし夜の時の過ぎゆく写経かな天ぶらの櫛の芽蕎麦を引き立てり
- (一江)
- (奉男)
- (正佳)
- (貴美)
- (太郎)
- (隆治)
- (正雄)
- (平六)
- (前歩)
- (孝昭)

土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号
三田ビル3階 (〒105-0001)
TEL 03-3580-8588
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎 (68期)

上田ゆかりの偉人

製糸結社「依田社」をつくった

下村亀三郎

中山正光 (65期)

皆さんは製糸結社「依田社」

ん。

をご存知でしょうか？ 旧上丸子村（現上田市上丸子）にあった依田社が、昨年ドーハで開かれた第38回世界遺産委員会で正式登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」と同等レベルの遺産であるとか、元上田高校同窓会理事長故金子行徳氏が創立した信濃絹糸紡績（現シナノケンシ）が依田社の「時代の一步先を見つめ自らを革新し続ける経営哲学を継承している」と言ったら、興味が湧くかも知れませ

明治日本の製糸技術の高さを世界に知れ渡らせた功績が依田社にはあり、それをつくったのが下村亀三郎です。彼は慶応3（1867）年上丸子村三反田の生まれで幼少時から秀才でした。丸子小学校柴崎虎五郎校長の支援を受け、明治18年に福澤諭吉の慶應義塾に入學し正規教員を目指すも、病気になる断念をせざるを得ませんでした。福澤諭吉に帰郷のあいさつをした際に「地域を興す実業（産

業）を目指せ。君は教員志望の初志を捨て信州の地に適した産業を興して先駆者となれ」と示唆され、それが契機となり「製糸業の事業家」になる決心をしました。

明治初期の丸子地区は県下の蚕糸業の中心にもかかわらず、従来の座繰りの製糸業を細々やっている状況で、洋式器械製糸工場はわずか長瀬の金井製糸場があるにすぎません。亀三郎は「大量生産により荷口（荷の量）を爆発的に増やしてコストダウンすべき」という発想から「洋式器械製糸」の仲間を募り明治22年「結社・依田社」を創設。横浜の商社「小野商店」を通して米国向けの製糸販売を事業化しました。彼は「品質の不統一を避ける製糸の品質強化」を図りました。おかげで明治末から大正初めには「依田社格で優秀品質」との評価を得て、横浜港から「無検査で直接米国に輸出できた」と言われています。亀三郎は丸子町の初代町長や大屋―丸子間の軽便鉄道敷設の発起人となったほか、模範工女養成所や病院の設立、共同販売方式の確立など幾多の関連事業の創設、環境整備を積極的に行い地域の発展に大いに尽力しま



糸をとる工女（上田市立博物館蔵）

したが、大正2（1912）年、45歳の若さで亡くなりました。上田市丸子地区は、現在は県内有数の工業集積地ですが、その礎はひとえに亀三郎が築いたものと言えるでしょう。一説では、上州は器用な女性の手作業による製糸業主体でその分機械化が遅れましたが、丸子地区の製糸工場は彼を中心に創設した洋式器械製糸業の機械化の浸透がその後の製糸生産の爆発的な大量生産の礎を築きました。余談ですが、中丸子の私の生家は祖母の父が明治初期に座繰製糸工場を興して、大正初期には依田社に加盟して「カネ五」

として洋式器械製糸工場を運営しました。生家には当時の母屋と製糸場跡などが残っており、これらも蚕都上田プロジェクトで魅力ある地域づくりを進める長野大学教授や歴史研究者の興味をくすぐる「文化遺産候補？」です。（本稿は上田高校63期卒の上田歴史研究会会長阿部勇氏に監修を受け作成しました）

「依田社の記録」は当時米国向けに撮影された映像が今も残っており見ることが出来ます。

<https://www.youtube.com/watch?v=9cm1m8NHP7o>



下村亀三郎（上田市立博物館蔵）


信州ハム
 信州上田の地で製品を作り続けています。

安心にまっすぐ。
グリーンマークシリーズは発色剤、着色料、保存料、引酸塩を使用しないで作られた信州ハムのハムソーセージにのみつけられるシンボルマークです。

信州ハム株式会社
 代表取締役社長 中村 幸男 (第65期)

〒386-8686 長野県上田市下塩尻950
 TEL 0268-26-8610 FAX 0268-26-8611





森明美さん 歌会始を前にホテルで

す。たい」と話にしていきた言葉歌生まれてきく、自然に負うことなから先も気返る。森さん「これ

1月14日に皇居・宮殿で行われた「歌会始の儀」で、名古屋守山区の元高校教諭、森明美さん(57期、旧姓黒田、軽井沢町出身)の歌が入選し、披露された。お題は「本」で2万861首の中からの10首に選ばれた。宮殿・松の間で、天皇、皇后両陛下や皇族方の前で入選歌が伝統的な節回しで読み上げられた。森さんの「竹垣の露地に仕立てた数本の太藺ゆらして風わたりけり」は、昨年6月、自宅の庭にカヤツリグサ科の多年草のフトイを植えた際、さわやかな風が穂を揺らして吹き抜けていき、その情景をありのままに表現し

歌会始に入選 森明美さん (57期)

た。「汗をかいた後の涼やかな自然の偶然に心が癒された素直な気持ち」が歌になって、頭に降りてきた」という。初めて歌を詠んだのは社会人になった22歳のころ。親元を離れ独り立ちした時に、郷愁が湧き起こって自然に歌ができたという。その後、愛知県内の私立高校で数学や化学を教える傍ら華道、茶道、書道、謡などの趣味とともに独学で歌を詠み続けてきた。「好きな時に好きなように詠む」という主義でやってきた。約10年前から歌会始に応募するようになり入選した。高校時代数学の先生がよく若山牧水の話をしてくれたのが短歌に興味を持つきっかけだったような気がする」と振り返る。森さんは「これから先も気負うことなく、自然に生まれてきた言葉歌にしていきたい」と話す。

オレゴンだよ(3)

「U-pick」磯野(武重)玲子(69期)



磯野玲子さん 一時帰国中に
なことではないらしい。小さい頃から、夏休みにアルバイトでU-pickをさんざらされて、もうたくさんだという友人がほとんどだ。

5、6月のこの時期になると、そわそわと落ち着かなくなる。オレゴンのベリー・シーズンの始まりとなり、毎年、冷凍保存の生ジャム(まったく煮ない)を大量に作るのが私の恒例行事となっているからだ。最近とみに日本でも人気のスポットとなっているここオレゴンは、6月から8月の間に、ストロベリー、ラズベリー、ブラックベリー、ラズベリー、ブラックベリーには見向きもしない。酸味があり、非常に甘いフルーツというストロベリーの時期は、2週間と短い。その熟しきインディアン原住民が昔から採ったストロベリーを農場に行ってきた野生の場所があるが、摘み、採った分だけ目方で買ひとつひとつの実が小さく、たつてくるU-pick。「このくさん採るのは、時間がかかりジャムは絶品だよ」とほめちなかな難しい。年暑い中を20近く摘んでくブラックベリーは、繁殖力が強く、初めてオレゴンに移ってきたときは、友人の裏庭にたくクチン、コーンシロップで作るさんあるのに喜々としてはおばこのジャムは、香りがフレッシュだったのだが、オレゴンの人ユナイチゴそのもの。鮮やかな高速道路の横にまで生息して色をしていて、冷凍で1年は

持つ。U-pickだと1(約450)が1.5(約185円)以下と格安なので、大量に作れる。農場に行くのと、小さい子供と家族連れで楽しんでいる人も多く見られる。私にとっては、とても楽しいこの作業もオレゴンで育った友人たちにはあまり魅力的なことではないらしい。小さい頃から、夏休みにアルバイトでU-pickをさんざらされて、もうたくさんだという友人がほとんどだ。

芝パーククリニック
 日本人間ドック学会
 「人間ドック健診施設機能評価」認定施設
 小島 玲 (76期)
 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1
 芝パークビルA館2階
 TEL 03-3434-4485 FAX 03-3434-4007
<http://www.shibapark-clinic.jp>

同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが最近出版した本を掲載しています。紹介したい新刊図書がありましたら、左記のメールアドレスに松本までご連絡ください。

matsu-tetsu@mo1.iscom.net
(定価は外税)

「宇宙論の物理(上・下)」

松原隆彦(83期)

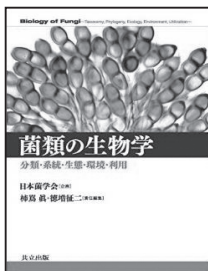


東京大学出版会
各3800円

宇宙論の理解に必要な最小限の事項から丹念に説明し、物理的事柄はすべて第一原理から論理的に結論をひきます。

「菌類の生物学」

柿島眞(65期) 責任編集

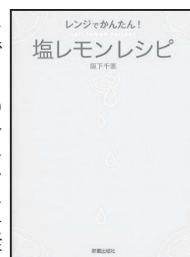


共立出版
5300円

われわれの生活に深く関わっている菌類。生態はいまだ多くの謎に包まれている。どのように生活を営んでいるかを紹介する。

「塩レモンレシピ」

阪下千恵(93期)



新星出版社
1200円

皮ごとのレモンを塩漬けにして熟成させる調味料、塩レモンが、電子レンジで温めることで簡単にできます。おいしい時短レシピ。

「蚕都信州上田の近代」

阿部勇(63期)

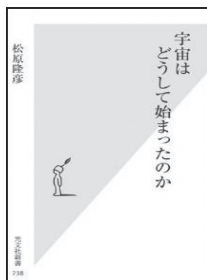


岩田書院
2800円

横浜開港前から昭和初期の上田小県地方の製糸業について、上田地方に伝わる膨大な資料を基に調査、共同研究した。

「宇宙はどうして始まったのか」

松原隆彦(83期)

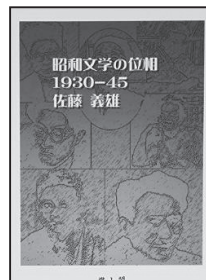


光文社新書
760円

「宇宙の始まり」という壮大なテーマについて、現代宇宙論の立場から考える。私たちは宇宙の謎にどこまで迫ることができるか。

「昭和文学の位相 1930-45」

佐藤義雄(65期)

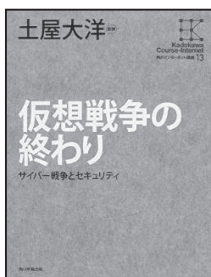


雄山閣
8400円

昭和10年代文学への真摯な眼差し、著者の考察による待望の論集! 「転向」の時代から「戦時」へ懊悩(おのの)し苦闘する作家群像。

「仮想戦争の終わり」

小宮山功一朗(95期) 共著



角川学芸出版
2700円

インターネットを通じ仕掛けられるサイバー攻撃。個人情報から国際社会の安全保障まで、インターネットに潜むリスクを解説。

「社会的共通資本としての森」

関良基(86期) 共編著



東京大学出版会
5400円

共著者に経済学者の故宇沢弘文、東大名誉教授のほか、保屋野初子氏(74期)、金沢謙太郎氏(85期)ら同窓生が名を連ねる。

「羊毛フェルトのふんわりハムスター」

はっとりみどり(81期)



主婦の友社
1600円

本物よりかわいいハムスターを作ろう! 簡単なのにリアルに仕上げる画期的な方法で、子どもから大人まで楽しめます。キット付き。

卒業50周年で文集

62期「邂逅」

東京五輪が開催され、東海道新幹線が開通した1964年に卒業した62期はこのほど、卒業50周年記念文集「邂逅(めぐりあい)」を発行した。A4版90ページの小冊子。「卒業50周年を迎えた今の私」「卒業50周年・古稀に当たり思うこと」「わが青春の城下町」



真山隆夫
(62期)

アクト法律事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目9番18号
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階
TEL: 03-5570-5671 (代表)
FAX: 03-5570-5674
【最寄りの交通機関】
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長) 岩井重一(62期)
弁護士 安田隆彦
弁護士 平澤慎一
弁護士 波戸岡光太
弁護士 黒澤真志



54期 銀座で 「ナマオケ大会」

恒例の関東五四期会「春の集い」が3月13日昼、銀座ライオンで41人が参加して行われた。いままでは講師を依頼した同期生の話を1時間ほど聴いてから懇親会という格調高いスタイルをとっていたが、今回は喜寿の祝いという意味もあつてか、おなじみのミッキー酒井さんのピアノ伴奏で、事前にエントリーした曲を歌うという豪華ナマオケ大会がメインである。

同期会を軽井沢で計画していること、来月生島足島神社で健寿祈願祭と喜寿を祝う会を行うことが報告された。人生の第4コーナーを回ると健康上の問題を抱えることが多くなる。できるだけ機会を生かして旧交を温めたいと思う。

懇親会に入ると、ピアノ演奏の懐かしいスクリーンミュージックが流れる中で歓談の輪が広がり、ナマオケ大会ではマイクを離さない者が司会者が必死で説得するなど大いに盛り上がった。来年の大河ドラマ「真田丸」にちなんで仲間の藤村延魚君が作詞作曲し、奥方が歌った『真田幸村 男の美学』のCDが配布され、本人が歌唱指



導したあと、最後は「凱歌」「校歌」を全員で歌ってお開きといういつものパターンとなった。

宮沢壮介(54期)

65期 9回目の 新年会

関東の同期の新年会は今年で9回を数え、すっかり恒例行事となつている。

今回は2月6日(金)夜、銀座2丁目のごんまりりしたしやれたホテルモントレ銀座に9クラス、30人の仲間が集まった。遠く北京から駆け付けてくれた人もいてうれしい。

宴は関東の出席者の中で一番遠方の群馬県高崎市から参加した中山正光君の発声で始まった。



代表幹事の1人丸山暢久君から今年の関東同窓会総会は、来年のNHK大河ドラマ「真田丸」のプロデューサー、屋敷陽太郎氏を招いて講演を予定しているのだから加するよう要請があつた。

ボランティアシンガーとして活躍中の岩崎ひとみさんが自作の歌「上田慕情」を熱唱披露して喝采を浴びた。中締めは「同期生の主治医」折井正博君から、健康を保つ秘訣を拝聴してお開きとなる。

上原昇(65期)

67期 母校正門前へ ワープ?

67期は昨年の関東同窓会総会の当番期に向けて数年前から集まり始めました。日弁連会長に就任した村越進さんの祝賀会をしたり、何人かでゴルフに行ったりしています。

年に1回は皆で集まろうと、2月7日(土)東京駅近くのイタリヤンレストランで新年会を開きました。22人の参加でした。初参加の3人から始まった自己紹介と近況報告。飲み放題だったので「飲みすぎで記憶が飛んでいる」方ばかりで、原稿依頼が私に回って来ました。次

回からは飲む前に原稿を書く人を決めましょう。

「こんな年寄りの集まりは僕の居るところではないと思った」「えっ、同じ中学だった?」「染谷の女子はかわいかった」とそれぞれ言いたい放題でした。どんなに楽しかったかは写真の笑顔をご覧ください。後日送られてきた写真を見てビックリ!母校正門前にワープしています。プロの写真家の小林正文さんの作です。小林さんありがとう!気後れして前日キャンセルした貴女、次回はぜひ参加してくださいね。

水島良子(67期)



ワイン飲み放題の後母校正門へ移動?(写真はおトリミングしています)

eclat 税理士法人 エクラコンサルティング
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート8F
TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801
URL <http://www.eclat-c.com/>



「ミニ四八会」の集まり

2月18日、千代田区永田町の日比谷高校星陵会館に14人が集まった。

この集まりは2003年12月に宮山栄二さんが亡くなり、同級生16人がお通夜に集まったのがきっかけで、「同期生で会いたい」と山崎延秋さんから提案があり、誰もが異存はなく、年に4回会合が継続している。

通夜には元東京大学教授白田誠人さんが出席され、会場に向かう途中「以前はこの沿線の富士通へ技術指導で来たものですよ」と言われ、農林省出身の小林富士雄さんも、「農業大学へ講師として通いました」と述べられた。

この日のミニ四八会の話題は、



2011年の「ミニではない」関東四八会

相続のこと、夫婦2人のうちどっちかが1人になる、一軒家では負担が大きいのでマンション住まいにしたいなどと続いた。今井正明さんは日本の企業・情勢・成長原因などの講演を依頼され、年に何回も海外へ出かける。次はスイスとドイツという。

田原 敬(48期)

57期7組

「清作会」新年会

清作会は担任の故池田清作先生

のお名前にちなんだクラス会です。卒業時は51人でしたが10人が逝去し現在は41人となりました。お互いに健康管理して、長く会を続けようと話し合っています。

毎年新年会、花見、軽井沢でゴルフを兼ねた泊まりがけの会、暑気払い、忘年会を開催しています。

今年の新年会は1月17日、上野精養軒で20人が参加して開催。恒例の講演会は昨年南アフリカ旅行をした飯島君、山浦君、田沢君が「南アフリカ感動の旅」として旅の様子を報告しました。

乾杯に続きそれぞれが近況を語った後、校歌斉唱、応援歌、凱歌、寮歌を歌い散会しました。

清水康弘(57期)



上野精養軒で開いた清作会新年会

第10回理科系班O.B会

第10回理科系班O.B会は2014年8月30日(土)銀座の大庄水産銀座店で行われ、清水周先生(47期)をはじめ14人が参加しました。

開催に当たり、日本証券アナリスト協会前専務理事の萩原清人氏(59期)が「アベノミクスと金融政策」と題してミニ講演しました。理科系班O.B会は05年に化学班O.B会がスタート、その後、物理、生物、天文気象、電気の各班が加わっています。毎年8月の最終の土曜日か日曜日に同じ場所で行っています。

石井則男(64期)

同窓生の原作が映画化

「おかあさんの木」

同窓生の児童文学者大川悦生氏(47期・1998年没)原作の「おかあさんの木」が映画化され6月6日、全国で公開されます。

太平洋戦争のために7人の息子が次々と兵隊にとられ、そのたびにキリの木を植えて息子たちの無事を祈る母親の話。繰り返す小中学校の国語教科書に採用され母子の愛と、戦争がもたらす悲しみ子どもたちに訴え続けてきた。

大川氏が旧制中学に通った上田が映画の舞台となっています。7人の子供たちに恵まれ、つつましくも幸せな家庭を築いていく主人公・ミツを演じるのは鈴木京香。激動の時代を懸命に生きた親子の愛の物語です。同窓生の皆さんぜひご観覧ください。

倉沢 裕(69期)



「おかあさんの木」の出演者

「不登校」も成長の証。

「不登校」も成長の過程のひとつ。

私たちはそう捉えて、生徒を応援しています。一人ひとりをもつ個性を大切に、柔軟な教育スタイルと丁寧なフォローで生徒を笑顔に導きます。

【4つのコース】

普通コース、マンガ・アニメコース
声優・タレントコース、ペット&アニマルコース



<最近の合格実績>【国公立】東京大・京都大・筑波大(医)・東京工業大・東京外語大・千葉大・新潟大・信州大ほか多数
【私立】早稲田大・慶應大・上智大・東邦大(医)・杏林大・東海大(医)・帝京大(医)・明治大・法政大・国際基督教大・青山学院大・中央大・北里大・多摩大・武蔵大ほか多数

学校法人上田煌桜学園

さくら国際高等学校 東京校

(旧東京国際学園高等部)

東京都渋谷区代々木 1-43-8

Tel 03-3370-0718

http://www.tokyo.sakura-kokusai.ed.jp

理事長・学園長 荒井 裕司(64期)



SGHに指定 他校ではできない経験を

学校 校長 内堀 繁 利



本年度上田高校に校長として赴任しました内堀繁利でございます。彼らは古城の門の前という例年の設定に加え、満開の桜の木の下でクラス写真に納まったのでした。

関東同窓会の皆さまには、日頃から本校へのご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。村）が主人公のNHK大河ドラマ「真田丸」が来年1月から放送されることです。本校は、幸村の兄

私も同窓生、74期生として、水が染み込む床、雪が吹き込む窓という当時の最先端の設備を完備した旧校舎で学びました。職員として勤務することになった現在、当時の何倍もの感慨と感謝の気持ちを抱きながら、古城の門をくぐり、校歌を大声で歌っています。

4月4日の入学式で本校生となった全日制323人、定時制31人の116期生はとても幸運でした。写真屋さんによると、この20年間で入学式に桜が開花していたのは今年で2回目、しかも前回より開いているといわれています。彼らは古城の門の前という例年の設定に加え、満開の桜の木の下でクラス写真に納まったのでした。

そして、最大の幸運は、国際的素養を持ったグローバルリーダーの育成を目的とした、文部科学省のSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）に、本校が本年度から5年間指定されたことです。昨年1年間のSGH「アソシエイト」校としての取り組みの実績と「いのちと健康」をテーマにした申請書の内容が高く評価されたと聞いています。116期生は、1年の時から、フィリピンや台湾を含めた国内外フィールドワーク、海外大学生・高校生との

交流、筑波大学、信州大学、新潟薬科大学、佐久総合病院、JICAなどの連携事業、課題探究学習、英語プレゼンテーションなど、他校では経験できないさまざまな取り組みを行っています。21世紀型学力ということが言われますが、どんな力を持った、どんな人間に育ってくれるか私たちもとても楽しみです。

最後に皆さまにお願いがございます。「ふるさと信州寄付金」(ふるさと納税)は、長野県にふるさと納税いただくと、一定のルール

私たち4人は4月18、19日に大阪大学で行われた国際公共政策コンファレンスに参加しました。スーパー・グローバル・ハイスクールという文部科学省の新たな取り組みも始まりましたが、国際問題に関して、高校生が研究内容を発表する機会はなく、今回初めての企画として大阪大学コンファレンスが開催されました。

昨年8月フィリピン派遣に参加した私たちはフィリピンでたくさんの方と学び、さまざまなことに気がつくことができました。その経験を多くの人に伝えさらに深めたいと



で所得税・個人住民税が控除される制度のことですが、その際、「寄付申出書」の「2 寄付金の活用を希望する長野県の取り組み」欄の「エ その他の希望」に「上田高校の教育の充実のため」とお書きいただくと、一定額が本校の教育の充実に充てられる可能性があります。お礼の品も送られますので、皆さまにとってもお得な話ではないかと思えます。1人でも多くの方に寄付をいただきますようお願い申し上げます。

最後に皆さまにお願いがございます。「ふるさと信州寄付金」(ふるさと納税)は、長野県にふるさと納税いただくと、一定のルール

国際公共政策会議に参加

3年 松岡 聖 佳

思い、テーマを「フィリピンのグローバルイノベーションを男女格差・経済格差より考察する」とし、課題研究と解決のための提言のプレゼンテーションを行いました。

準備を重ね、今までで一番の発表ができたと思えます。しかし、厳しい講評もいただき、高校と大学での学び、求められていることの差を実感し、もっと自分たちが世界の諸問題について学ばないといけないと感じました。また、本校卒業の大阪大学国際公共政策研究科竹内俊隆教授からご指導いただき、考えを深めることができ

ました。交流会では、全国の高校生も自分たちと同じかそれ以上に世界について考えていることが分かり、意見交換して有意義な時間を過ごせました。

今回のコンファレンスでは高校の授業を超えた研究発表を行うことができ、全国の高校生や大学生、教授の先生方と交流することでよい刺激が得られ、勉強になりました。このようなコンファレンスを今後も続けてほしいです。こんなすばらしい学びができる大阪にまた行きたいと思えます。

公共政策コンファレンスで発表 (下)



上田高校卒業生の竹内俊隆大阪大教授と (上)



上田高校 NOW



323人が入学

1年

4月4日、第116期生323人（男子151人、女子172人）が、桜が咲き始めた古城の門をくぐり上田高校生としてスタートを切りました。

当日は、前日の心配とは裏腹に天候が回復し、暖かな春の日差しが新入生を包み、緊張の中にも期待と希望に目を輝かせた新入生の前途を祝福しているようでした。

さて、上田高校は本年度文科省からSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）の指定を受けることとなりました。SGHの目

的は、高等学校などのグローバル・リーダー育成に資する教育を通して生徒の社会課題に対する関心

と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力などの国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることにあります。このたび入学した116期生はSGHの第1期生ということになります。新入生はこれまで上田高校が掲げてきた「試百難」の志のもと、新しい学びに挑戦していくことになりま。大変なこともあるかも知れませんが、生徒が得るものは大きいと思います。私たち教職員も全力で生徒の新たな学びを支えていくつもりです。

新1学年では、「自ら考え自発的に行動する。」という大目標のもとに①自分と相手を大切に②人の声に耳を傾ける③自立し、自律するという学年目標を掲げました。これらの目標は、生徒たちが一人前の大人になっていくとともにグローバルな世界で活躍できる人間になるためにも必要なものと考えられます。これらの目標を基本とし、生徒が充実した高校生活を送

る中で大きく成長し、広く世界に羽ばたいていくことができるように職員全員が心を合わせて指導・支援を進めてまいりたいと考えています。

1学年主任 西嶋 力

定時制には31人

本年度、上田高校定時制には男子19人、女子12人、合計31人が入学しました。

入学後まだ3週間しかたつていませんが、この間の全体の出席率は95%を超えています。入学した生徒の多くがさまざまな事情で小学校や中学校時代に不登校を経験していることを考えると、驚異的な数字といえそうです。大人数が苦手な集団になじめなかったという生徒たちも、1000人もの生



定時制1年が正門前の夜桜で花見

徒、職員でこつた返す食堂で夕食を取っています。また、ほとんどの生徒たちが真剣なまなざしで授業に取り組んでいるのも印象的です。失われた時を必死に取り戻そうとしているのかもしれない。さらに3修制を利用して3年間で卒業を目指している生徒も約6割に上り、意欲が感じられます。4年で卒業するという選択をした生徒もそれぞれに学校生活を生き生きと過ごしています。

さて定時制生徒たちは来る松尾祭で大々的に食堂を営業します。関東同窓会のみなさん、7月にぜひ定時制食堂へいらしてください。

定時制1年担任 田中幸雄

全国選抜 高校大会に参加

男子硬式テニス班は、3月21日から26日に福岡市の博多の森公園テニス競技場で行われた第37回全国高校選抜テニス大会に出場しました。

同じ大会に出場する他県の強豪校や、地元の高校と練習試合をするために開会式の2日前から現地入りしたことは、とても良い経験となりました。

開会式当日は今までに感じたことのない熱気にあふれている会場



福岡市の博多の森公園テニス競技場で

の中で、名だたる強豪校の選手たちと肩を並べて入場できたことにとっても感動しました。初戦の相手は抽選で、強豪の長崎県海星高校と決まり、班員一同気合いを入れ直して団体戦に臨みましたが、結果は0対5、力を見せつけられての完敗。1試合もとることができずに負けてしまいました。

悔しい結果に終わってしまいました。最高の仲間たちと夢の全国大会を経験できたことは一生忘れることはできません。この経験を生かし再び全国を目指してインターハイ予選を戦いたいと思います。

テニス班3年 村松征堯

クラス替えで

新スタート

2年

4月3日始業式の朝8時、生徒昇降口前で生徒たちの歓声が上がりました。クラス替えの名簿が張り出されたのです。生徒たちに「できる限り多様な人間関係を持つてほしい。学力だけでなく、新しい環境に置かれてもたくましく生きていく力、クラスの枠を越えてお互いに切磋琢磨し合って成長していく力をつけてほしい」という学



松代大本営近くで説明を受ける2年生

担任団の願いから、昨年の学年に学を行います。進路学習として、引き続きクラス替えが実施され、8月の大学見学会、オープンキャンパスへの参加、9月の学部学科の願いが具現されることを心よ説明会、さらに、3年時の科目選り期待し、最大限のサポートをし、択説明会が計画されています。このような2学年の基本方針

4月9日のLHRは春の恒例行事である上田城公園でのお花見に学年全体で出かけました。前日に雪が降り、天候が気がかりでしたが、当日はすっかり晴れわたりの絶好の花見日となりました。生徒たちは、満開の桜の花に囲まれ、どら焼きをほおばりながら思

10月には高校生活最大の行事である沖縄修学旅行が予定されています。5月1日にはその事前学習

2学年主任 山崎 隆

進路実現に向けて

3年

本年度の3学年は、3200人（男子175人、女子145人）でスタートしました。理系基本5講座（183人）、文系基本3講座（137人）の8講座で授業を行って

授業がありました。3学年授業においては、すべての授業が、文理別の各自の進路希望に沿った講座別授業になっています。

3年生は、新教育課程完全実施1期生です。昨年度は、新たな試

みとしてクラス替えを実施しました。また、スーパー・グローバル・ハイスchoolの取り組みでは、フイリピン研修に参加するなど多くの関連企画を意欲的に行いました。受験に向けた学習以外の「行動し調べて学び、その成果を発表する」新たな学習活動は、生徒にとつて、これからの進路にも、大きな影響を与えたと考えています。

また、2年次後半からは、生徒会活動においても意欲的に取り組んでいます。午後7時完全下校運動、上下履きの区別をするためのイエローマーク運動などです。新入生歓迎の対面式では、和やかな

雰囲気をつくるために、さまざまな企画を生徒主体でつくり上げました。

生徒会最大の行事である第58回松尾祭学芸部のテーマは、「SEIZE THE DAYS—上田高校の非日常」です。生徒会活動・班活動に悔いを残さないように完全燃焼してほしいと思います。そして、大学受験においても成果を期待しています。

このような3学年の基本方針は、2年次に引き続き、3つの習慣（生活習慣・学習習慣・考える習慣）の確立を



上田公園で花見

目指す。授業に集中できる学習環境を整える。クラス替えに伴い、面倒見の良い学年づくり・学級づくりを目指すの3点です。当たりの励行・清掃などにも手を抜かず、着実に取り組みます。

3学年主任 沓掛哲生

ふるさと納税で「上田偉人館」を

金沢市には「金沢ふるさと偉人館」があつて、哲学者の西田幾多郎、アドレナリンの発見者高峰譲吉らの業績が展示されていて、青少年の育成や郷土の誇りの涵養に役立っています。

上田も坂本龍馬に先駆けて議会政治と近代日本のランドデザインを提案した赤松小三郎、世界で初めて人工がんの発生に成功した山極勝三郎ら偉人を輩出していますが偉人館はまだありません。

東京上田会では平成27年度の活動方針に「ふるさと納税制度を利用した上田先人館（仮称）の設立」を提案し、5月27日の総会で承認される見込みです。関東同窓会の会員の諸兄弟にもぜひこの企画にご賛同いただきたくお願いいたします。

丸山 瑛一（51期）



2014年度会務報告案

(2014年4月1日～15年3月31日)

▼第53回総会・懇親会

2014年6月29日に如水会館で開催し、266人が参加。松原隆彦氏(83期)の講演「奇妙な宇宙 宇宙の全体像とその外側」と母校吹奏楽団の演奏が行なわれた。吹奏楽団は本同窓会には初めての出演で総勢40人の演奏は迫力ある素晴らしいものだった。

▼委員会活動の推進

IT推進委員会、若手会員対策実行委員会、学生会員の社会デビュー支援委員会、会員交流推進委員会、女性会員の会実行委員会、編集委員会、以上6委員会について具体的な活動を行った。また、役員改選に合わせ推進体制も見直した。

▼会報

第88号を5月下旬に、第89号を12月中旬に発行した。

▼新年会

2015年1月22日に日本教育会館で開催、例年を上回る97人が参加。小諸高校音楽科卒業生有志の演奏グループ「きらら会」のメンバー3人によるチェロ、ピアノの演奏とソプラノの独唱を堪能した。

▼年会費納入状況

厳しかったが結果的には予算を4万円(1.4%)上回り、前年比98.9%と協力を得た。

▼寄付金と広告収入

広告収入は予算に対し2.5万円増と、厳しい環境の中で予算比・前年比共に102%と健闘した。寄付金は予算に対し15万円減(80.1%)対前年比98.9%と年々厳しくなっている。年会費納入が堅実な50期台が会費免除期に入り、今後の財政への影響が懸念される。充実した会報を継続するためにも特に寄付での支援にご理解いただきたい。

▼その他

105期鶴岡慧子氏監督の「くじらのまち」上映会を4月6日に開催。春・秋のゴルフコンペ実施、本部・各支部総会等に出席。

2015年度会務計画案

(2015年4月1日～16年3月31日)

▼第54回総会・懇親会

2015年6月27日(土)に如水会館で開催。実行委員担当最年長期の68期が中心になって企画運営。

▼委員会活動の充実

6つの委員会を中心に同窓会活動の充実・多様化と、会員の関わりを深める。

▼会報

第90号を5月下旬に総会直前号として発行、本年も24ページ建てとする。第91号を正月号として12月中旬に発行する。

▼ゴルフコンペ

本年も春と秋の年2回実施する。

▼母校・本部などとの交流

母校社会講座への講師派遣、入学式・卒業式への出席。上田本部会員大会や各支部総会への出席。

▼他団体との交流

県高校同窓連には従来通り、総会などに関与していく。

2014(平成26)年度決算報告案 (2014年4月1日～2015年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
前期繰越金	2,829,128	2,829,128	0	大会費	1,830,000	2,043,378	213,378
			0	会報費	2,600,000	2,641,464	41,464
大会会費収入	1,900,000	1,688,000	-212,000	交通費	330,000	284,892	-45,108
会報広告料	1,100,000	1,125,000	25,000	通信費	130,000	46,279	-83,721
年会費収入	2,950,000	2,990,000	40,000	会議費	720,000	1,106,044	386,044
会議費収入	550,000	675,000	125,000	渉外費	200,000	239,000	39,000
寄付金収入	750,000	600,600	-149,400	印刷費	50,000	0	-50,000
雑収入	0	307,400	307,400	事務費	860,000	790,300	-69,700
受取利息収入	0	300	300	雑費	380,000	376,347	-3,653
(小計)	7,250,000	7,386,300	136,300	委員会推進費	150,000	68,899	-81,101
				(小計)	7,250,000	7,596,603	346,603
(合計)	10,079,128	10,215,428	136,300	次期繰越金	2,829,128	2,618,825	-210,303
				(合計)	10,079,128	10,215,428	136,300

2015(平成27)年度予算案 (2015年4月1日～2016年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	27年度予算	26年度決算	増減	科目	27年度予算	26年度決算	増減
前期繰越金	2,618,825	2,829,128	-210,303	大会費	2,205,000	2,043,378	161,622
大会会費収入	1,830,000	1,688,000	142,000	会報費	2,642,000	2,641,464	536
会報広告料	1,100,000	1,125,000	-25,000	交通費	330,000	284,892	45,108
年会費収入	2,950,000	2,990,000	-40,000	通信費	100,000	46,279	53,721
会議費収入	675,000	675,000	0	会議費	800,000	1,106,044	-306,044
寄付金収入	650,000	600,600	49,400	渉外費	240,000	239,000	1,000
雑収入	0	307,400	-307,400	印刷費	50,000	0	50,000
受取利息収入	0	300	-300	事務費	800,000	790,300	9,700
(小計)	7,205,000	7,386,300	-181,300	雑費	300,000	376,347	-76,347
				委員会推進費	150,000	68,899	81,101
(合計)	9,823,825	10,215,428	-391,603	(小計)	7,617,000	7,596,603	20,397
				次期繰越金	2,206,825	2,618,825	-412,000
				(合計)	9,823,825	10,215,428	-391,603

運営基金特別勘定 (2015年3月31日現在)

科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	10,500,000	0	10,500,000
同利息	798,788	1,967	800,755
合計	11,298,788	1,967	11,300,755

単位：円

一般会計・特別会計総括表 (2015年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
定期預金	10,500,000	運営基金	11,300,755
普通預金	800,755		
郵便振替口座	991,133	次期繰越金	2,618,825
普通預金(定期利息用)	1,271,031		
普通預金	356,661		
合計	13,919,580		13,919,580

定期預金 / 普通預金(定期利息用)：みずほ銀行 兜町支店
 郵便振替口座：日本橋郵便局
 普通預金：三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店
 普通預金：三菱東京UFJ銀行 日本橋中央支店



【102期】 輿水理美 2015 野呂安澄 2018	【91期】 滝沢綾子 2014	【84期】 篠塚未暁 2015 清水博之 2014 城下理恵 2014 向本直樹 2014 吉池 仁 2021	中野健治 2023 西谷江美 2014 花井克之 2018 原 久美 2017 柳沢孝之 2014	2023 佐藤一男 2015 佐藤之俊 2015 鳥居圭子 2018 柳沢宗男 2017	2015 坂口洋三 2018 佐藤一雄 2014 土屋浩子 2015 土屋三千夫 2016 西沢英一 2014 保屋野初子 2014 柳沢香枝 2017	2016 岩崎裕治 2016 榎本美智子 2014 奥山利幸 2018 川崎とみ子 2018 氣田夏子 2017 小林正典 2016 小宮山修邦 2018 佐藤哲夫 2015 関 博明 2014 関 雄二 2014 竹下昌彦 2018 田中 誠 2014 田村順一 2015 寺嶋正明 2024 長坂武見 2018 平田圭吾 2017 福田礼子 2015 船渡和男 2015 矢島基美 2023 依田昌樹 2014 渡邊温子 2020	【70期】 安藤 哲 2018 伊藤彰紀 2016 君波昭治 2015 小池朋子 2018 小林則夫 2015 洪沢 稔 2015 隅田滋彦 2017 田中正行 2019 中村建哉 2017 花岡千賀子 2015 平賀淳子 2016 丸山幸夫 2019 緑川正博 2023 宮下有生 2017														
【103期】 井出洋文 2014 大谷真宙 2016 金井咲保里 2016 小岩井聡美 2017 児玉季史 2014 小林隆人 2014 佐藤 有 2020 塩入詩織 2016 古市和也 2017 水沢聡志 2017 師川紘一 2016	【92期】 植松真弓 2017	【85期】 池野修一 2014 今田明日香 2014 金井教子 2015 近藤弘司 2016 疋田康二 2016 村上和香子 2014	【81期】 池野修一 2014 今田明日香 2014 金井教子 2015 中池 徹 2014 神原 誠 2017 坂口善樹 2016 高橋登美恵 2018 戸島俊一 2020 中沢直木 2014 服部みどり 2016 福島晋也 2014 保科彰治 2014 毛利元晶 2015 四方ゆかり 2014	【78期】 一杉恵理子 2017 鵜殿理枝 2017 倉島一喜 2014 河野えり子 2014 竹花真理子 2017 田村理恵 2015 根本昭子 2018 水野 靖 2014 吉田和子 2019 渡邊 博 2020	【75期】 一之瀬康利 2015 川畑久仁子 2015 大工原 潤 2018 滝沢正登 2016 竹内幸隆 2014 塚田勝彦 2015 樋沢克彦 2014 羽田 平 2014 宮島省吾 2018 山田美紀 2014 山本享子 2015 和氣寿子 2015 渡邊聡明 2022	【73期】 石坂敦子 2018 尾台通久 2015 川上幸則 2014 小須田道彦 2017 塩入 修 2014 須貝 博 2018 土屋秀俊 2014 橋爪尚子 2014 橋詰富博 2015 橋爪宏達 2014 藤木和彦 2020 藤澤市郎 2018 柳沢信雄 2014 柳沢和也 2015	【71期】 赤木千江子 2017 岩下秀市 2017 内田みつ子 2017 岡野周子 2016 久保田則夫 2014 小林秀一 2017 小林英夫 2014 小林清隆 2014 小林孝弘 2019 小牧秀子 2017 近藤 徹 2015 白木一彦 2017 杉崎経雄 2019 高木 繁 2016 茅野昌義 2015 中沢庄平 2014 中村一夫 2015 長谷川敏雄 2017 林 芳樹 2014 望月亮子 2017 柳沢幸夫 2016 吉池豊 2017 若林典雄 2015 和久津智恵子 2014														
【104期】 岩田菜里子 2018 檀山正則 2014 川合健治 2015 清水文隆 2017 寺島亞希 2015 羽田えみ 2014 古澤孝 2014 水野高夫 2017	【96期】 青木康史 2016	【86期】 太田 仁 2014 佐藤美那子 2015 関 良基 2017 三好英次 2014 吉池有司 2014	【82期】 加藤民幸 2017 笹沢和子 2014 重藤知夫 2018 田玉智明 2018 西沢知樹 2016 長谷川 浩 2016 堀田きよみ 2014 室賀郁夫 2014	【79期】 阿部真由美 2014 井出浩一 2014 今井 明 2014 荻原 貴 2017 黒坂 淳 2015 清水雄至 2020 竹鼻ゆかり 2014 田中秀樹 2015 中村憲治 2014 中沢 尚 2014 西沢 尚 2017 野口克哉 2017 花岡和道 2014 早坂ゆかり 2015 松尾 弘 2015 水尾 宏 2015 矢澤 浩 2014 山口 博 2014 若林勇文 2015	【76期】 内山憲一 2015 金井一正 2015 小島 玲 2015 佐藤美恵子 2014 柴崎由美子 2018 清水順三 2018 高池裕子 2014 滝村 浩 2015 土屋久幸 2014 鳴沢真一 2016 広田徳明 2018 福井正彦 2017 堀籠秀直 2017	【74期】 飯嶋俊樹 2014 石塚二郎 2018 大平貴臣 2016 荻原久俊 2021 小林孝寛 2018 小宮山伸之 2019	【106期】 堀 淳志 2016	【99期】 池本麻衣 2014 窪田健志 2017 宮澤陽介 2016	【88期】 池田剛生 2016 澤瀬栄子 2014 田中亜友実 2015	【83期】 五十嵐恵子 2014 内川 智 2016 榎本かおる 2014 大野聡子 2016 荻原昭彦 2015 尾添静子 2014 倉島茂樹 2016 竹内延彦 2015 松沢 厚 2014 松原隆彦 2014 宮島克仁 2014	【80期】 會田信子 2031 新井晶子 2016 石黒久仁子 2014 児島佳子 2014 鈴木巳季 2015 龍野和徳 2017 谷川博幸 2016	【77期】 牛田宏子 2015 押金 勉 2014 神村昌通 2016 岸 豊子 2015 黒澤太平 2015 小松義明 2015	【107期】 甲田英里子 2018	【100期】 尾澤一希 2014 小池伸太郎 2014 關 雅之 2015 滝澤成晃 2018 田中篤志 2019 中川央充 2014 三橋優介 2014	【89期】 小林幸治 2019 関 祐一 2019	【90期】 池田照章 2014 佐藤一道 2017 鈴木 礼 2016 成田哲博 2014	【108期】 中村祐輝 2014	【101期】 青木 史 2014 菅野有未恵 2014	【110期】 須田啓史 2014 長島有理 2018	【112期】 宮下優奈 2014	【72期】 青沼 泉 2014 井井一郎 2014

寄付者 / 寄付グループ

2014年10月1日～2015年3月31日

期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)
41	清水 栄一	2,000	51	掛川 國雄	5,000	62	高梨 奉男	5,000
42	増田 官太郎	10,000	52	荻原 静寿	1,000	64	荒井 裕司	10,000
46	清水 巻郎	2,000	52	池田 松子	2,000	65	上原 昇	7,000
46	長谷川 潔	4,000	52	濱野 志め	2,000	65	宮川 恵三	10,000
49	田中 達夫	2,000	53	服部 聡一郎	2,000	65	田中 昇	20,000
49	風間 充	1,000	60	大橋 邦夫	4,000	81	毛利 元晶	8,000
49	鶴見 慎一郎	2,000	60	白井 透	5,000	83	荻原 昭彦	3,000
50	山田 秀昭	2,000	60	日置 勇二	50,000		有志	4,100
50	上原 健一	2,000	61	山極 敏郎	10,000		合計	175,100

土屋綜合法律事務所
 弁護士 土屋 文男 (69期)
 〒10210073 千代田区九段下1-13-13
 九段下東急サクラビル4階・8階
 TEL03(35512)0211
 FAX03(35512)0214

Outsourcingの知識集団

株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳 (69期)
(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005
http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html

(診療科目)一般歯科 矯正歯科 小児歯科

はせがわ歯科矯正歯科

院長 長谷川 剛 (80期)

埼玉県戸田市川岸 2-5-26
埼京線戸田公園駅 徒歩 8分
TEL 048-445-0080
http://www.hasegawa-dental.



会員短信

新年会の出欠はがきより

44-5期 柳澤 廣 O B会合同初漕会。寒風の中約1

歩行がままならず今回も失礼 時間ごき切り、本年の健闘を誓い します。 祝杯を上げた。

44-4期 滝沢源平 会報を楽しみにしています。

早朝のウォーキング、ラジオオ 体操は皆勤賞で頑張っておりま ます。昨年はゴルフで10回目と11回

目のエージシユートを達成。お祝 楽家を招いてくださり感謝してい

いの会を開いていただきました。 ます。東京小諸会では毎年、彼女

47期 桜木浩吉 たちを招待。 老齢で、外出を控えておりま

47期 上野平八郎 何とか出席しようと思日程調整 中。楽しみにしています。

48期 和田 裕 今年の新年会も盛会でありま すことを！

53期 塚田 靖 昨年の吹奏楽団O B会「松奏 会」に出席しました。発足2年目

50期 山田秀昭 の吹奏楽団で兎東先生にとってもお 世話になった事を感謝していま

担当医より「人生終焉しゅんげん近し」と言われています。

51期 丸山球一 脳出血による介護、闘病生活 8年になります。誰もが、今日が

51期 土屋 章 自分に一番若い日です。健康第一 に、充実の日々を過ごされますよ

51期 黒川嘉郎 今年も1月4日に対校戦2校 究活動を終え自由人となりまし

56期 大日方 昂 長年の大学などでの教育・研 究活動を終え自由人となりまし

た。散策、ランニングなどに励み、 医療費軽減に努めています。

56期 笹澤征道

リウマチが進行し、箸の使用が 不自由になりました。

56期 横島庄治 新体制になって、会報も充実 し、ありがたいことです。

57期 田沢雄二郎 3月にノルウェーで満天下で のオーロラを見ることができ、10

月には南アフリカで満開のジャカ ランダの花に感動しました。

57期 渡辺静雄 きらら会の演奏を楽しみにし ています。

57期 馬場健一 きらら会の演奏楽しみにして おります。60期小児先天性心臓外

科の黒澤博身先生の記事感激。 57期 小島士郎

腰痛で、不自由な日々です。 57期 榎本金一

元気に過ごしております。 58期 北村尚巳

きらら会の竹内直美さんは東 京小諸会に何回か来ていただいて

58期 堀内 昭 おり、今回の演奏の楽しみが一層 増します。

58期 山邊光一 正月3日はわが家の同志と 大雪の中を京都で過しました。

58期 上田関係の集まりに「松尾俱 楽部」と「東京上田会」、「上田郷

た。

た。

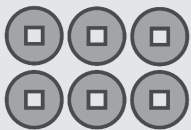


祝！第54回総会

68期有志一同

今回は私たち68期が実行委員の期です。 皆さんの協力で総会・懇親会を盛り上げましょう。 多数の参加をお待ちしています。(有志一同)

68期



「松尾倶楽部」会員募集

- ◆年2-3回の講演会、年1回の工場見学会、新年会
- ◆行事・催し物催行の都度、会報を発行
- ◆入会金2,000円 年会費はありません

お申し込み先 代表幹事 白井 透 (60期)

TEL: 03-3862-1065 E-mail: shirai_toru@hotmail.com
ホームページ: http://www.matsuo-club.jp

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を

ウエマツヤ

別所温泉 一人旅の宿 **上松屋** 心の自由劇場 HEART THEATER

社長 倉沢 章 常務 倉沢 裕 (69期)

信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館
〒386-1431 長野県上田市別所温泉1628番地
TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501

友会」があり、いずれも会
員です。

58期 佐藤鐵也

足が不自由で難儀していま
す。

59期 小林芳友

急に膝が痛みだし、歩行に
困っています。関東同窓会にも
元気なうちは出ようと頑張つて
います。

59期 大日方勝利

2年前、「真田幸村」NHK
放映の署名集めで奔走しまし
た。

59期 櫻井資悦

松本編集長による会報拝見。
今後一層内容に富んだ編集をし
ていただけたと思います。

60期 矢嶋邦彦

昨夏、孫3人と上山田温泉
に行つて来ました。楽しかった
です。

60期 松井石根

6回目の干支を迎える年とな
りました。還暦から逆算すると
48歳。実年齢を大きく偽つて今
を楽しんでいこうと思います。

60期 塚田 晃

昨年吹奏楽班OB会設立総
会で、52年ぶりに母校のブラス
バンドの演奏を聴き感激いたし
ました。

60期 小山比呂志

58期寺島さんとオーケスト
ラフェスタでお会いしました。

61期 井上 剛

会報の編集長をしていた時、
横山誠之助、中村禮三先輩はい
ろいろな情報をくださり、励ま
してくださいました。心よりご
冥福をお祈りいたします。

61期 沓掛 忠

新年会楽しみにしております。
小諸高校OBのきらら会の
演奏はワクワクしております。
「赤松小三郎研究会」は本当に
楽しい会です。

61期 吉田光明

NPO法人活動を中心とし
て活動しております。

61期 麦島和子

参加したかったのですが、
木、金、土と塾をやっております。
して 残念です。

62期 富田光明

東京九段の靖国神社近くで
画廊「耀画廊」を営んでおりま
す。

63期 下村祐一

現在は上海で就労しており
ます。

64期 宮坂信之

医薬品医療機器総合機構(P
MDA)専門委員、千葉大学監
事などをしていきます。

64期 若林重司

昨年春、引つ越しました。
東武動物公園近くで孫2人と6
人家族でにぎやかに暮らしてお
ります

64期 清水淳郎

上田高校の敷地にあった松
平時代の藩主御殿をCG復元し
ています。『週刊・日本の城』
掲載。

65期 上原 昇

新編集長による第89号、興
味深く読みました。

65期 柳沢賢次

北海道のアイヌの幣場には
記紀神話が伝えられておりま
す。解説結果を論文として記述
中です

65期 佐藤義雄

2010年に『文学の風
景 都市の風景』(蒼丘書林)、
2014年に『昭和文学の位相
1930-45』(雄山閣)とい
う2冊の単著を出しました。あ
と1冊を目標としています。

66期 市川 孝

年末引越しました。ここ
に腰を据えて人生の仕上げに取
り組んでまいります。人生のス
パイス 同窓会行事に積極的に
参加したいと思えます。

67期 水島良子

総会と新年会はできるだけ
出席しようと思っております。

新たな教育システムの創造 **松実学園グループ**

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

(社)ISM 教育総合研究所

全国の児童・生徒が自転車事故の加害者となった場合の「こころの保険」

松実高等学園

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15
理事長 松井 石根 (60期) 学園長 松井 寛 <http://www.matsumi-gakuen.net>

天然酵母田舎パンの店

ルヴァン Levain

ふるさとへ帰って来たら
ぜひ立ち寄ってください

オーナー 甲田 幹夫 (65期)

富ヶ谷店: 渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669
信州上田店: 上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866



IT技術者募集中

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F
TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836
URL <http://www.s-giken.com>



67期 佐々木美千代

信州は年末から雪景色で、浅間山も峻厳な姿です。子ども時代は寒い気候に慣れ親しんでいたのに、真冬の在任は別世界になります。

68期 清水猛(旧姓中山)

まだ働いています。健康第一を痛感しています。

69期 山村由紀子

平日の会にはなかなか参加できませんが、皆さまによくお伝えください。

71期 浅川 隆

3月で退職。4月から次の人生が始まります。

71期 小林 秀一

次回はぜひ参加したいと思っています。

74期 小宮山伸之

いつかは参加したいと思っています。

75期 川畑久仁子

新年会は初めての参加です。

75期 一之瀬康利

長い、海外および関西生活から東京に来ました。38年ぶりに同級生との懇親会を開催したい。

お目にかかれるのを楽しみにしております。

81期 毛利元晶

春分の日に、下関で旧長府藩と旧清末藩の縁の人達が集まり長清会を開催します。清末藩として

出席してまいります。

83期 松沢 厚

東京大学大学院薬学系研究科に所属していましたが、2014年から、東北大学大学院薬学研究科に教授として異動しました。

95期 小林昌志

野村證券外国為替部で東京のトレーディングヘッドをしています。机上には六文銭の旗、海外と戦っています。

96期 清水啓佑

いつも会報を興味深く読ませていただいております。

102期 細川理香

ホテルオークラエンタープライズを退職し、現在は麻布十番の四川料理店飄香ヒョウシャンに就職。上田高校卒のお客さまが企業の接待で利用されることもあり、刺激、励みになります。

103期 佐藤 有

SMB C日興証券で通信セクターの株式アナリストとして、日々刺激のある充実した仕事をしております。

「羊毛フェルトの

ふんわりハムスター」

主婦の友社1600円(税抜) はっとりみどり著(81期)

赤松小三郎研究会

関東同窓会の同好会で、偶数月の第三火曜日

18:30~20:30に例会開催中！！

坂本龍馬より先に二院制議政政治等を提唱した

上田藩出身の赤松小三郎…今、歴史的見直しの時

- <会長> 丸山瑛一(51期)
- <連絡先> 研究会事務局 荻原貴(79期) 090-3517-9011
- 事務局長 小山平六(62期) kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp

ゴルフ同好会に参加しませんか！

毎年、春と秋にゴルフコンペを開催

母校の先輩・後輩との新しい交流が生まれます

次回コンペは11月11日(水) 船橋カントリー倶楽部

新規参加者 大歓迎 ぜひご連絡ください

【ゴルフ同好会幹事】 古畑克巳(69期)

TEL 090-6042-0566 jlc3685@b8.mnx.ne.jp

訃報

心よりお悔やみ申し上げます

38期	久保 親志	2014.1.10	51期	六川 博輔	2015.3.10	62期	小林 克夫	2015.1.1
40期	天野 元男	2014.12.23	53期	浅野井 恭	2015.1.11	62期	上原 勝治	2015.1.16
48期	寺沢 明	2015.1.24	56期	佐野 勝雄	2012.1.1	65期	村井 順一	2015.3.10
51期	有賀 秀雄	2014.8.3	56期	西沢 興宣	2014.8.21	67期	石井 道夫	2014.5.16
51期	白田 稔	2014.11.11	61期	片瀬 喜雄	2014.9	72期	勝山 節子	2014.12.23

住所変更届けをお忘れなく

住所変更をしないと会報が届きません。はがき1枚で結構です。

〒103-0027 中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4F 上田高等学校関東同窓会まで

編集後記

担当になって2回目の会報編集が終わった。前回は編集ソフトのことが全く分からなくて苦労した。今回少しはましだろうと思っていたが「年会費納入者一覧」の表づくりで往生した。▼幹事長がエクセルで作ってくれたデータを、掲載する形に並べ替えて編集ソフトに取り込むのだが、私には大仕事。パソコン画面にぐちゃぐちゃになって現れた表は、整形しようとして触るとさらに乱れ、大混乱だった。▼表には会費を納めていただいている約1400人の名前が並んでいる。表を見ると80期以降の若い世代の名前が極端に少なくなっていく。私もそうだったが、現役世代は同窓会に関心が薄いのももっともかもしれない。今年の総会イベントの一つは母校室内楽班の演奏。先輩面をしてもいいので、ぜひ聴きに来てほしい。▼表を見ていると『うえだ人』で紹介された人だ。同期会で歌ったと書かれていた歌手の人。「新刊紹介のあの本の著者」…。なぜかホッとす。関東同窓会にあまりなじみのなかった私にも、会ったことがない「知り合い」が増えている。

松本哲夫



『週刊日本の城』を完結 清水淳郎さん(64期)

姫路城の改修も終わり、城が脚光を浴びている。雑誌の城特集も目立つ。神田神保町で出版制作会社「株式会社碧水社」を経営する。大手出版社の『週刊日本の城』シリーズを企画・制作した。2年半かけて4月に120号を完結した。自らを「城バカ」と呼ぶ。「シルエットを見ただけで全国どこの城か分かる」という。

このシリーズはコンピュータグラフィックス(CG)による城郭の復元が売り。城郭研究の各分野の第一人者3人が監修した。当初100号の予定だったが好評で20号増刊したという。

118号では母校の敷地にあった上田藩主の御殿(御屋形)を建築史家に依頼して初めてCGで復元した。30年前に会社をつくって間もなく、松本市の出版社から刊行した『信州上田城』の取材中に発見した「御屋形古図」が基になっている。三の丸にあった御屋形がCGでリアルに再現されている。

できあがったCGを見て「校庭に近い剣道場と体操場が使っていた建物は、もしかしたら藩政時代の御屋形の御奥の一部だったのでは?」と話す。この建物は改築で取り壊されたが「そうだとしたら文化財が廃棄されたことになる」と嘆く。

在学当時プールの建設中で、高さの

あるコンクリートミキサー車が校門を楽々と通り抜けているのを見た。校門は、当時の玄関に通じる表門で「馬に乗った武士がやりを担いで通れる高さだったんですよ」と話す。

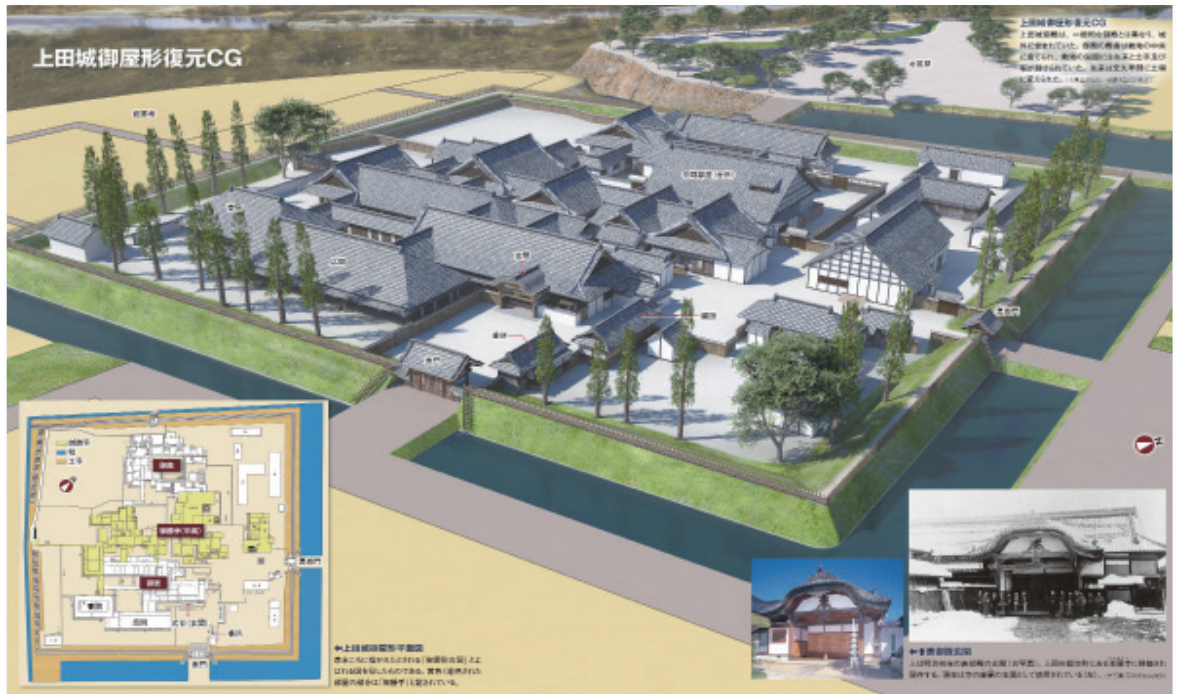
「城バカ」の原点は中学生の時。父が買ってくれた『名城と城址』という文庫本で「城」と出会った。高校では郷土研究班に入り上田城の模型を作って松屋祭で発表したり、真田の史跡めぐりをしたりして楽しんでいた。学生時代は後北条氏研究会(のちに戦国史研究会)で戦国史と城めぐりに熱中する。いつの間にか「城」が仕事になり、数々の城の本の企画・制作を続けてきた。「大手出版社の“城シリーズ”の半分は碧水社の企画」という。「好きで好きでしょうがないことを仕事にした喜びを実感しています」と話す。会社の会議室にはこれまで手掛けた城の本がずらりと並んでいる。現在の城



分売の組み立て企画で好評だった
安土城の完成模型の前で

ブームの陰の立役者の一人である。

自宅には甲冑コレクションの部屋もある。「甲冑と戦国史のオタク」も自称する。「次は戦国時代。真田もやります」と構想を語った。「北陸新幹線が開通して、金沢城を整備・復元した金沢は元気です。いつの日か上田城跡も本丸西虎口櫓門や杵形、市営球場の水堀が…」と上田城の復元を夢見ている。



ホームページをご活用ください

関東同窓会のホームページ (<http://uedakant.sakura.ne.jp>) には1日平均、約30件のアクセスがあります。IT推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。「皆の掲示板」や「会員の意見交換の広場」欄を開設して会員の皆さま自身による情報交換も可能なように作られていますので、ぜひご活用ください。